

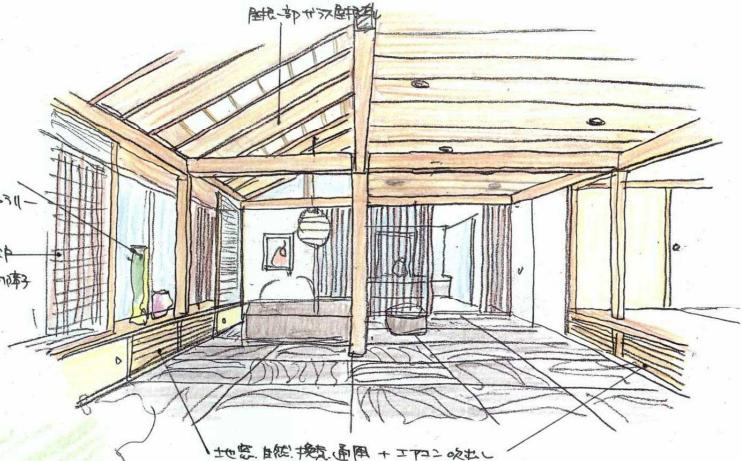
いま 日本中で在来型の住宅開発がおこなわれており、僅か数十年程度の人工の材料と気候風土の異なる工法による擬似デザインによる多国籍様式住宅が次々と建設されている。かっての「和」の国における都市型住宅の特徴であり、今回のテーマである「向こう三軒両隣」を軸とする良好な近隣関係と豊かな、みち・街並みのなかの伝統民家に建て替わって。人ではなく車を中心の法律のもとに造られつけた人サイズでない「道路」と、おなじく自己中心で近隣に配慮せずに建てられた「住宅」建設では、少々のデザインコードの導入では難しいと考える。

路地空間イメージパース



住戸内イメージパース

**これから** 私たちはかって実在した豊かなみち・街並みを再発見する  
ために「この国」において、千数百年にわたる先人たちの知恵により伝え  
られた伝統的デザインコードと材料・工法により光・風・視線等に配慮した  
「住まい」並びに人サイズの「みち」路地のある伝統的住環境を提案する。  
前面にひろがる湖からの涼風が流れる、豊かな緑あふれる家の前の路  
地空間で、ひととのつながりのあるやさしい心地良さが再発見されると思う。



### 「長浜・かねぼう町まちづくり」住宅設計コンペ

長浜・路地入りの家 / 路地ギャラリーのある家 03